

よしみ まがいかい

ぼくらの夏

「兄ちゃん魚とれた?」「うん、ほらこんなに」。入道雲がわく吉見町の自然の下で兄弟は遊んだ。二人の心にはいつまでも美しい故郷の思い出が残るにちがいない。(吉見町黒岩の田園で撮影)



撮影 ちょう ようひろ 長 洋弘さん(写真家・作家 南吉見)

9号

2025.8

No.176

7年5月臨時会
7年6月定例会

- 議会新体制でスタート…………… P2～3
- 5月臨時会 国保上限額引き上げ …… P4
- 6月定例会 エアコン設置で快適に…P5～7
- 審議の結果は…………… P8
- 町の考えを問う 一般質問に9名… P9～14
- ひと おれんじれんじの皆さん …… P16

議長、副議長、監査委員決まる



議長 宮崎雄一



副議長 大野陽康



監査委員 尾崎 豊

》議長就任あいさつ

町民の皆さまには、平素より町議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

このたび、議会議長という重責を仰せつかり、身の引き締まる思いでございます。町民の皆さまの負託に応えるべく誠心誠意、職責を果たしてまいります。

地方自治の根幹は、行政と議会が、車の両輪となり、互いにその役割を尊重しながら、地域の発展と町民の福祉向上に努めることにあります。私は、議会の長として、対話と協調を大切にしつつ、時には是々非々の姿勢をもって健全な議会運営に取り組んでまいります。

また、町民の声に真摯に耳を傾け、開かれた議会づくりを進めてまいります。人口減少や少子高齢化など、課題は山積していますが、議員諸氏と力を合わせ未来に希望が持てるまちづくりを目指して努力してまいります。

今後とも、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



議会運営委員会

(◎ 委員長 ○ 副委員長)

議会の運営に関すること、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関すること、議長の諮問に関する事項について調査を行うこと、議案、請願等の審査をします。



福井学 杉田しのぶ 秋山真美
宮崎雄一(議長) ◎柳谷泉 ○岩崎勤

新体制でスタート



5月臨時会は、5月14日限りの会期で行われ、専決処分の4議案、監査委員の選任が承認、同意されました。

6月定例会は、5月17日から20日までの4日間の会期で行われました。農業構造改善センター設置および管理条例、農業構造改善事業協議会条例の廃止、請負契約の締結、令和7年度の各会計補正予算、人事案件など16議案が上程され、全議案が原案のとおり可決、同意されました。

総務建設常任委員会

(◎ 委員長 ○ 副委員長)

総務課、自治財政課、総合政策課、産業振興課、税務会計課、まち整備課、議会事務局および農業委員会に関することを担当し、議案、請願等を審査します。



伊藤えりか 宮尾美千代 新井寛雄
岩崎勤 ◎柳谷泉 ○吉田克之 宮崎雄一

文教生活常任委員会

(◎ 委員長 ○ 副委員長)

町民健康課、長寿福祉課、子育て支援課、環境課、水生活課、教育総務課および生涯学習課に関することを担当し、議案、請願等の審査をします。



尾崎豊 大野陽康 福田妙子
小宮榮 ◎秋山真美 ○福井学 杉田しのぶ

5月臨時会

主な議案の内容

※紙面の都合上、主な質疑を掲載しています。

議案 27

国民健康保険税 課税限度額 引き上げ
軽減対象範囲の拡大

賛成
多数

地方税法施行令の一部改正にともなう、町国民健康保険税条例の一部改正です。

■国民健康保険税の限度額

項目	改定後	改定前
基礎課税額	66万円 (+1万円)	65万円
後期高齢者 支援金等課税額	26万円 (+2万円)	24万円
介護納付金 課税額	17万円 (改定なし)	17万円
国保税全体	109万円 (+3万円)	106万円

■改定による影響

項目	改定後	改定前	増減
基礎課税額 限度額超過世帯	27世帯	28世帯	-1世帯
後期高齢者 支援金等課税額 限度額超過世帯	26世帯	31世帯	-5世帯
5割軽減世帯	394世帯	377世帯	+17世帯
2割軽減世帯	362世帯	366世帯	-4世帯

問

法改正のとおり課税限度額の引き上げを
しなかった場合、交付金等への影響は
あるのか？

答

交付金や県への納付金の算定額にも影響が
出ることが考えられる。



杉田しのぶ
議員

課税限度額引き上げの今後の見通し、国
の方針は。

今回課税限度額を据え置いた場合、令和
9年度に向け埼玉県で進められている国保
税水準の準統一の際には、一気に引き上げ
ことになるのか。

医療給付費等が増加する中で、中間所得層
や低所得層の負担軽減や限度額超過世帯割合
の上昇を抑える必要があることから段階的な
引き上げが行われるものと考えている。

準統一では、収納率格差以外の項目を統一
化することを目指しており、課税限度額も政
令で定める金額で統一することとなっている。



町民健康課長

賛成



リスク負って
据え置きはできない

杉田しのぶ議員

質疑で、課税限度額を据え置けば、交付金や県への納
付金にも影響があることを確認した。国は今後も課税限
度額の引き上げを行う方針であり、今、引き上げを行わ
ないと対象世帯の負担は令和9年度に一気に引き上げら
れることになる。激変緩和の面からも今、改定をすべき。

納めた国保税は、確定申告で全額控除が適用されるた
め、あらゆる面から総合的に判断した。

県からの交付金の減額は、財政運営が厳しい国保会計
の運営をさらに圧迫することになり、結果的に保険税率
の引き上げへの影響も考えられるため、リスクを負って
までの据え置きはできないと判断し、賛成する。

Q 課税限度額ってなあに？

A 国民健康保険税は、①基礎課税、②後期高
齢者支援金等課税、③介護納付金課税（40
歳から64歳の方のみ）の3項目で課税され
ていて、それぞれの負担額には上限（課税限
度額）が設けられています。

Q どれくらいの収入の人が限度額に 達するの？

A 一例として、夫・妻・子2人（小学生）の4
人世帯で、夫のみ収入がある場合
基礎課税額分では給与年収950万円以上、
後期高齢者支援金分では給与年収966万
6000円以上の場合、課税限度額に達し
ます。

6月定例会

主な議案の内容

※紙面の都合上、主な質疑を掲載しています。

議案 31

役場庁舎 外壁タイルの剥落を防ぐ工事

賛成
全員

外壁タイルが剥がれ落ちないように、タイルに穴を開け、樹脂を注入します。

- 契約相手 伊田テクノス株式会社
- 契約金額 1億2980万円
- 施工期間 令和8年3月31日まで

小宮 栄
議員

問

この事業は継続するのか。

答

令和7年度の単年度事業。

自治財政課長



指定緊急避難場所および災害対策本部である役場庁舎

議案 34

令和7年度一般会計補正予算(第2号)
1億1420万7千円を追加し、予算総額を88億9882万2千円に賛成
全員

主な歳入

(1万円未満切り捨て)

地域診療情報連携推進費補助金	35万円
デジタル基盤改革支援補助金	3605万円
令和6年度定額減税追加分	4137万円
財政調整基金繰入金	1061万円
史跡等購入費補助金	1563万円
松山城跡整備事業債	350万円
B&G財団子ども第三の居場所車両購入助成金	356万円

主な歳出

(1万円未満切り捨て)

問 こども医療費システム改修	71万円
情報システムを国基準に改修	3605万円
定額減税しきれなかった人への対応	3935万円
イネカメムシ防除薬剤費補助	1320万円
東松山ー鴻巣線う回路道路用地購入費	1171万円
松山城跡公有地化分物件補償料	1954万円
児童送迎用車両購入	337万円

秋山 真美
議員

問

こども医療費給付事業、システム改修が行われる理由は。

答

国の新たなシステムに、町が運用している医療費助成システムの受給資格情報を登録し、医療機関等と情報連携を行うことでマイナンバーカードによりオンラインで医療費助成の受給資格を確認できるようにする。紙の受給資格証を持参する必要がなくなり、利用者の負担軽減につながると考えている。

子育て支援
課長杉田 しのぶ
議員

問

いつからオンライン資格確認ができるようになるのか。

答

10月～2月に改修を予定しており、改修後の利用となる。

子育て支援
課長

議案 43

町民体育館、B & G体育館に空調設備設置

賛成
全員

- 契約相手 積田冷熱工事株式会社
- 契約金額 1億3233万円
- 施工期間 令和8年3月31日まで

問

どの課が発案したのか。

小宮 榮
議員

町はカーボンニュートラルを宣言しているが、化石を燃して電気を使う。スポーツをやる人が暑い、寒いと言ってるようならしないほうがいい。どう思うか。

答

生涯学習課だが、予算の事務事業ヒアリングの結果、今年度に計上した。

日頃からスポーツを愛好している方だけでなく、シニアの輪投げ大会などの利用もあり、普段スポーツに慣れていない熱中症リスクの高い人も利用する。また、災害時には避難所になっており、熱中症対策、環境整備として設置する。



生涯学習課長

問

工事期間中の利用者への制限や配慮は。

秋山 真美
議員

代替施設の案内はしているのか。

答

今年の11月から来年2月末位が工事期間でLED化工事と併せて行う。工事期間中は利用停止となる。昨年度より年間利用団体には説明している。

町内には生涯学習課所管の両施設の他に学校施設の体育館がある。協議は行っている。



生涯学習課長

問

契約金額は1億3233万円だが、財源内訳は。

杉田 しのぶ
議員

エアコンの設置とともに輻射パネルを採用した理由は。

答

国の緊急防災・減災事業債を活用し、起債充当率100%、交付税参入率70%、これにより、町の一般財源は約3970万円で令和7年度までの時限措置。

エアコンの設置基数が減らせ、輻射パネルは電気代がかからず、耐用年数が長く、故障が少なく、ランニングコストが大幅に削減できるため。



自治財政課長



生涯学習課長

問

町民体育館とB&G体育館工事費の内訳は。

柳谷 泉
議員

両方の体育館とも減免措置があるが、減免されている方にも応分の負担を求めているのか。また、工事費用を考えると金額もどの程度求めているのか。

答

経費を除いて、直接工事費として町民体育館7031万5千円でB&G体育館3228万2千円。

減免措置を受けている方にも、検討していかなければならない。どの程度かは、今後、協議検討していく。



生涯学習課長

アリーナ利用やランニングコースの一人利用でも使用するのか。また、誰がエアコンのスイッチを入れたりするのか。

運用の基準は、今後、協議検討していく。

賛成



空調設備の設置は必要不可欠

杉田 し の ぶ 議員

気候変動の影響により、年々暑さが厳しくなっているような現状も体感している中、熱中症によるリスクも高まっている。30年前、40年前とは明らかに環境が異なり、根性論だけでは対処できる状況ではないことを私たちは身

をもって実感できる環境になっており、運動施設としても避難所としてもエアコン設置は必要不可欠。

質疑でも確認したが、有利な事業債を活用し、設置後のコストも考慮した空調設備で、町の公共施設を快適に利用できる環境を整えるために賛成する。



町民体育館南側イメージ



参考(他自治体設置状況)

空調方式は「対流式エアコン」と「輻射式冷暖房装置」を併用した、壁掛型(左写真)のものです。

対流式エアコンと輻射式エアコンを併用することで、風を起こさないよう配慮し、電気代を節約できるメリットがあります。

人 事

副町長の選任同意

副町長に
ねぎし まさみ
根岸 正己 氏を
選任同意(新任)しました。

大串在住



監査委員の選任同意

監査委員に
すがの あきお
菅野 明雄 氏を
選任同意(新任)しました。

小新井在住



人権擁護委員の候補者の推薦

人権擁護委員の候補者に
いわさき かつみ
岩崎 克美 氏を
推薦(再任)しました。

大串在住



固定資産評価員の選任同意

固定資産評価員に
ねぎし まさみ
副町長 根岸 正己 氏を
選任同意(新任)しました。

大串在住



定例会のお知らせ

吉見町議会

9月定例会

9月2日(火)から開催される予定です。

詳しいことは、町議会事務局まで
お問合せください。

TEL 0493-63-5024
(ダイヤルイン)



県議会からのお知らせ

「こんにちは県議会です」(テレ玉)

8月24日(日曜日)午前10:00～

「主要会派代表者に聞く」

県議会主要会派の代表者に今年度の課題
や抱負などについてお話を伺いました。

プレゼントコーナーもあります。

※詳しい放送スケジュールは、埼玉
県議会ホームページ
(<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-tereb.html>)を
ご覧ください。



議案審議結果

5月臨時会町長提出議案

議案番号	件名	参照	結果	福井	伊藤	福田	吉田	宮尾	新井	大野	柳谷	秋山	尾崎	岩崎	杉田	小宮	宮崎
議案第24号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度一般会計補正予算（第6号））町議会議員補欠選挙に係る補正予算	—	承認	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第25号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度吉見町一般会計補正予算（第1号））町議会議員補欠選挙に係る補正予算	—	承認	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第26号	専決処分の承認を求めることについて（吉見町税条例の一部を改正する条例）軽自動車税、固定資産税の改正	—	承認	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第27号	専決処分の承認を求めることについて（吉見町国民健康保険条例の一部を改正する条例）課税限度額の引き上げ、軽減措置の対象となる所得基準の改正	P4	承認	●	●	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第28号	監査委員の選任同意について 岩崎勤氏の辞職に伴い、尾崎豊氏を選任	P2	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長

6月定例会町長提出議案

議案第29号	吉見町農業構造改善センター設置及び管理条例を廃止する条例	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第30号	吉見町農業構造改善事業協議会条例を廃止する条例	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第31号	請負契約の締結について 役場庁舎の安全性の向上や防災機能の強化を目的とした外壁改修工事	P5	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第32号	請負契約の締結について 農業構造改善センター解体工事	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第33号	町道路線の廃止について 町道6596号線・町道6597号線・大字江網字恵行町	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第34号	令和7年度吉見町一般会計補正予算（第2号） 88億9882万2千円（1億1420万7千円増額）	P5	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第35号	令和7年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 23億7038万3千円（38万3千円増額）	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第36号	令和7年度吉見町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 3億1174万3千円（74万3千円増額）	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第37号	令和7年度吉見町介護保険特別会計補正予算（第1号） 18億8567万2千円（567万2千円増額）	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第38号	令和7年度吉見町水道事業会計補正予算（第1号）	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第39号	令和7年度吉見町下水道事業会計補正予算（第1号）	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第40号	副町長の選任同意について 小川福美氏の退職に伴い、根岸正己を選任	P7	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	議長
議案第41号	監査委員の選任同意について 新井和利氏の任期満了に伴い、菅野明雄氏を選任	P7	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第42号	人権擁護委員の候補者の推薦について 岩崎克美氏の任期満了に伴い、同氏を再任	P7	適任	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第43号	請負契約の締結について 町民体育館及びB&G海洋センター体育館に空調設備を設置する工事	P6・7	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	議長
議案第44号	吉見町固定資産評価員の選任同意について 根岸正己氏を選任	P7	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長

町政に対する 一般質問

一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。（持ち時間1人60分以内）

議会だよりでは本人の原稿をもとに、その内容を編集委員会で編集し、掲載しています。

1 福井 学 議員

P10

- 問1 小学校統合再編計画の見通しは
その他の質問
ごみ処理施設の見通しは
富士山の噴火に備えは



6 宮尾 美千代 議員

P12

- 問1 道の駅の整備
問2 放置竹林と竹の利活用



2 吉田 克之 議員

P10

- 問1 中央市街化区域の下水道整備
問2 収入保険の加入状況



7 秋山 真美 議員

P13

- 問1 高齢者のヒアリングフレイル予防
問2 がん患者等支援
その他の質問
インフルエンザワクチン接種費用の助成対象拡充
熱中症対策と落雷事故防止
燃やせるごみの削減



3 福田 妙子 議員

P11

- 問1 デマンド型交通及びささえあいサービス事業
問2 町の史跡・名所を生かした環境の整備
問3 道路陥没の危険性



8 杉田 しのぶ 議員

P13

- 問1 町長所信表明と町長選挙公約
問2 危険木伐採と地域環境整備活動への支援
問3 旧フレンドシップハイツよしみのオープンは



4 新井 寛雄 議員

P11

- 問1 孤独死を防ぐための対策
問2 免許返納後も生活に支障が少ない町づくり
問3 コミュニティの衰退に対する取組
その他の質問
職員からの意見



5 大野 陽康 議員

P12

- 問1 町長の所信表明後の具体的施策
問2 令和7年度教育行政に係る重点施策
問3 学校給食



9 柳谷 泉 議員

P14

- 問1 地方創生
問2 地域おこし協力隊
問3 子育て支援



スマホで
二次元バーコードをチェック
各議員の動画が見られます。





いつまでに町民の声を聞く考えか

【町の答え】

いまのところ考えはない

ふくい まなぶ 議員

学校統合再編

問 町の考えは3月議会で議決された。町長はいったん立ち止まることはできても、議会の議決と異なる方向へ町を導くことはできない。議会の議決権は地方自治法96条に規定され、極めて重いものだからだ。それを承知で、議会の議決を無視しても良いかのように発言するのは、地方自治に反する考えだ。

答 私の意見を支持いただき選挙に当選したため主張している。しかし、2校案を無理に進める考えはない。地域住民や学校関係者、教育委員、議会のご意見を承りながら進めていきたい。

問 議決の無視は地方自治法に反する。法的に禁じ手という認識はあるか。

答 回答を控える。

問 中学校の敷地内で今年度予定されていた解体工事は止まったままだ。再開する考えは。

答 議会の声、町民の声を聞いたうえで考えたい。

問 いつまでに、どのような形で聞く考えか。

答 いまのところ考えはない。

問 町長就任から既に1か月。まったく無策である。今後の見通しをどのように持っているか。

答 現時点で申し上げられることは何もない。

問 教育委員は学校の設置と廃止の職務権限を持つ。教育委員の皆さまに面談した際、どのような発言があったか。

答 教育委員の皆さまは「いままで通り1校で進めて」と発言していた。



子どもたちの歓声響く学校を



中央市街化区域の下水道整備

【町の答え】

整備計画と手法を検討していく

よしだ かつゆき 議員

下水道がない

問1 中央市街化区域は、市街化区域に指定されてから55年、半世紀が経過しても区画整理が行われず、今日に至った。下水道整備も宅地利用が難しい場所や水路が滞留している場所がある中、実施されていない。区域内の多くの家庭は、合併処理浄化槽を使用しているが町の今後の下水道整備は。

答 下水道の整備にあたっては、相当の事業費が必要。町の中心部の活性化や暮らしやすい環境を整えるため、計画と手法について検討していく。

問 県道東松山鴻巣線の4車線化に伴う、う回路整備に合わせ、道路や住環境整備を進めていく中で、下水道整備をどのように進めていくのか。

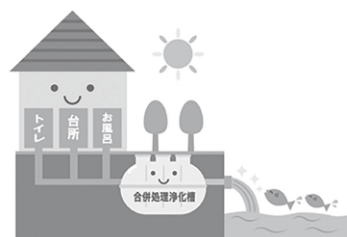
答 整備手法について検討が必要、対象区域を分割して区域ごとに整備が終わり次第、順次供用を開始していくことが効果的と考えている。

問 令和8年度に下水道整備の進捗率95%以上にする国の対策が終了するが、その後の対応はどうか。また、市街化区域は合併処理浄化槽を設置しても補助対象とされないのでは特例が認められないか。

答 令和9年度以降は、改築や耐震などの維持管理に対する予算が中心となる見込みで、下水道整備の予算を国が支援するのは難しく、終了した場合は、町の単独費で整備を進めていかざるを得ない。合併処理浄化槽設置に関する補助について、中央市街化区域は公共下水道計画決定区域となっているため、補助対象とすることは現時点では考えていない。

問2 収入保険の加入状況は。

答 町内の加入状況は、76の経営体の内、54の経営体が加入し、加入率71%で町内の経営体の加入割合は高い状況にある。



市街化区域は補助がない

町の史跡・名所を活かすには

【町の答え】

黒岩横穴墓群等保安全管理に努める

日本共産党 福田 妙子 議員



史跡の整備を

問1 町の史跡・名所をいかした環境の整備は。

答 町内広範囲において、竪穴式住居跡等、縄文時代からの多種・多様な文化財が点在している。埋蔵文化財センター等で展示し説明表示をしている。

問 黒岩横穴墓群の16基の横穴墓を見学しやすく環境整備を図る考えは。

答 黒岩横穴群は、豊かな自然との調和のとれた重要な文化財であり、保安全管理に努める。

問2 デマンド型交通及びささえあいサービス事業の現状は。

答 2台運行の曜日は、大変混み合っている利用状況を鑑み利便性と持続可能性を踏まえた対応を行っていく。

問 後期高齢者の人口割合は。安心できるデマンド型交通になるよう対応は可能か。

答 現在、75歳以上は町の人口の19%である。今後、全国的にドライバーが減少することが予想されている。デマンド型交通が、町の持続可能な公共交通として利便性の向上に取り組んでいく。

問 ささえあいサービス事業により住みやすい町づくりとして高齢者を支えるには。

答 ささえあいサービス事業の周知を図り、利用会員、サポーター会員ともに充実を目指している。今後、サポーター会員の年齢層を広げ安定した対応をしていきたい。

問3 下水道管老朽化が進み、道路陥没の危険性は。

答 令和4年度に腐食のおそれ大きい下水道管内のカメラ調査を実施し、道路陥没の危惧される場所は無かった。



黒岩横穴墓の整備を

孤独死等を防ぐための対策は

【町の答え】

支援が受けられるよう努める

新井 寛雄 議員



単身高齢者増加

問1 孤独死を防ぐための対策は。

答 現在、町の単身世帯の6割近くが65歳以上の高齢者世帯である。町では、緊急通報システムの設置や民生委員と連携し支援が必要な方への見守り活動など、単身世帯の方が孤立せず必要な支援が受けられるよう努めている。

問 孤独死や孤立死などの心配なく、町で暮らしていくために今後どのような取組を行うか。

答 高齢化の進展等に伴い単身世帯数が増加傾向にあることから、見守り活動を行っていた民生委員の負担が増加している。これからの時代や社会背景に合わせ、単身世帯になっても安心して生活が継続できる地域づくりが大切であることから、住民同士が見守りささえあうコミュニティの醸成に努め関係機関等と連携し支援に必要な取り組みを検討していく。

問2 車のない生活を想像できずに返納をためらう高齢者も多いと思う。返納後も安心して暮らせることへの情報提供・取組は。

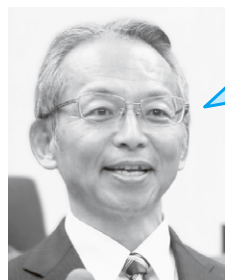
答 高齢運転者の交通事故を未然に防ぐため、免許返納を進める制度が整えられている。運転をやめるという選択に対して生活環境が維持できるように情報提供することは大切なことだと認識している。

問3 生活の変化や少子高齢化に伴い縮小傾向にある既存コミュニティに対して町の認識は。

答 自治会などの地域コミュニティは、日常生活における防犯や福祉活動はもちろんのこと、災害時の助け合いや支え合いなど身近に必要な組織である。顔が見え、つながりのある地域づくりに取り組むことが大切であると考えている。



さびしくならないように



町長就任時の 所信表明について

【町の答え】

意見を伺い慎重に検討を進める

おの はるやす
≫大野 陽康 議員

町長所信表明

問1 町長就任時の所信表明の中から、「小学校統合・再編計画」、「新たなごみ処理施設整備計画」の2点について、どのように進めていこうと考えているのか。

答 学校の統合・再編については2校案の考えから、現在の計画は一旦立ち止まり慎重に検討を進める必要があると判断した。ただし、2校案を無理に進めるのではなく、幅広く意見を伺い皆様に納得いただける結論を出していきたい。新たなごみ処理施設整備計画については、現施設の再生の可能性について調査を行うことを検討するが、新たなごみ処理施設の整備に関する事務は今までどおり進める。

問2 「令和7年度吉見町教育行政の重点施策」について、教育長の交代に伴い、その内容に変更の必要性が生じるものはないか。

答 教育行政は長期的な視点で計画されており、一貫した継続的な取組が重要であると認識しているため、施策についても継承している。今後もそれぞれの施策における取組の効果が高まるよう努めていく。

問3 米や食材の価格が高騰している中、安定した給食の提供に支障は生じていないか。

答 物価高騰は厳しいが、給食の質を堅持することは重要である。国の交付金や町の一般財源を不足した食材購入費にあて、保護者への新たな負担が生じないように対応している。

問 調理に携わる職員の労働環境を適切に維持していくためには町と業務委託者との緊密な連携が必要不可欠であると考えますが現状はどうか。

答 町と業務受託者、それぞれの役割の中で連携し対応に努めている。設備・備品等の更新については計画的に進めていく。



小学校統合・再編計画の今後の行方(対応)は

【イラストは「吉見町立統合小学校建設基本設計(案)説明会」資料より】



公園を含め リニューアルすべき

【町の答え】

道の駅の活性化に努める

みやお みちよ
≫公明党 宮尾 美千代 議員

道の駅の整備

問1 吉見町都市計画マスタープランのなかに、「いちごの里よしみは道の駅を拠点とした交流や賑わいが生まれるまち」とある。利用者も多い公園を含め、リニューアルすべきと考えるが町の見解は。

答 具体的なリニューアルの予定はないが、近隣の道の駅の取組も参考に町が掲げる「賑わいや交流を創出する拠点」機能として、より魅力的で誰もが訪れたい施設となるよう活性化に努める。

問 公園の遊具の管理は。

答 運営会社による日常の目視点検と年1回専門業者に委託して点検を行う。現在使用停止の遊具は7月中旬に修繕完了予定。計画的な維持管理に努める。

問 公園の周り、道路沿いの木々の剪定、伐採は。

答 計画的に木々の剪定や伐採を行っていく。

問2 近年、放置竹林が増えている。生活道路や近隣の住宅に竹が侵入して竹害で困っている。町の対策は。

答 竹に限らず空き地等から雑木が繁茂、越境し、道路や隣家に悪影響が生じている場合は土地所有者に対し適切に管理するよう通知している。また維持管理できる業者の一覧も同封。対応されない場合は継続的に依頼している。

問 竹を伐採しても処理に困る等で竹を利用する自治体もある。町の考えは。

答 全国では団体等と連携し、伐採した竹を地域資源として活用している自治体もある。町では、先進事例を参考にしながら町での実現可能性や有効性を調査するが、現時点では利活用については考えていない。



魅力的な道の駅になる整備を!

高齢者の聴覚の衰えの早期発見を

【町の答え】

実施自治体の状況等を参考に検討

あきやま まみ
≫ 公明党 秋山 真美 議員



高齢者の難聴

問1 ヒアリングフレイルは聴覚機能の低下によって引き起こされる体の衰え。昨年9月に国の「高齢社会対策大綱」が改正され、加齢による難聴等への対応が追加された。高齢者の聴覚の衰えの早期発見の取り組みは。

答 現時点において早期発見に対する取り組みは行っていない。高齢者のヒアリングフレイルは、放置すると心身の活動の衰えが進み、認知症等のリスクが高まるとの報告もある。実施している自治体の状況等を参考に検討していく。

問 聴覚の状況を確認するため、無料アプリ「みんなの聴脳力チェック」の活用を。

答 高齢者が集まる場で、このアプリを活用したヒアリングフレイル予防講座を開催するなど、予防の一つの手段として活用していきたい。

問2 AYA世代のがん患者が利用できる在宅療養を支援する制度の創設を。

答 県内では助成事業を実施する市町村が増えている。町民ニーズ等を確認し、効果的な支援方法を研究していく。

問 治療の副作用や傷痕が残る手術などで、外見（アピアランス）の変化に苦痛を感じる方に対して行われる人工乳房、ウィッグおよび帽子などの購入費用に対する助成の実施を。

答 総合的ながん対策を推進するうえで重要な取り組みで、県内多くの自治体が助成事業を実施している。がん患者の外見的变化による苦痛や経済的負担を軽減し治療前と同様の社会生活を続けることができるよう、支援方法を調査研究する。

問 助成を実施の県内自治体数は。

答 63市町村中、51市町村。



聞こえをよくすることで認知症や交通事故のリスクが低減

法的に権限のない町長は覆せない

【町の答え】

教育行政とよく話し合い進める

すぎた
≫ 杉田 しのぶ 議員



校統合新設

問1 教育委員会は、首長の政治的影響を排除し、首長の交代や政治の変化に左右されずに、教育行政を安定的に実施するために、首長から独立した地位・権限を有する行政委員会。教育委員会が保護者や教職員の意見を基に、全町民からご意見を聞く機会をつくりながら進めてきた学校一校統合新設を権限のない町長が覆すことは法に背く恐れのある行為。教育委員会は子どもたちの教育環境を第一に考え、これまでどおり一校統合新設を進めるべきとの考え。町長が政治的な理由で教育行政への介入をすることは、教育委員会の権限を侵害する行為に当たると考えるが、町長の見解は。

答 教育行政とよく話し合いをしながら進めていきたい。法的なことはまだ認識不足。

問2 私有地からの倒木で事故があり、危険の予見性次第で道路管理者の責任を命じた判例もある。通学路や生活道路に倒木の危険性がある所有者不明土地の危険木は町で伐採を。

答 土地の管理は所有者の責任が原則であり、町で伐採を行うことは難しい。しかし、危険が差し迫った場合は、町で対応することも必要と考える。

問 森林環境譲与税を原資とした危険木伐採への補助金制度の創設を。

答 まずは他団体の事例を調査したい。

問2 フレンドシップの新たな修繕費、概算3000万円は、ふるさと納税基金の活用を。基金の残高は。

答 令和6年度末で約7720万円。

問 今後のスケジュールは。

答 7月末を目標に修繕の金額を把握し、予算、財源等を含めて9月議会、報告できる内容が整ったら説明したい。



曇り空 無風の中で倒木した枯れ木



奨学金返還支援事業の創設を

【町の答え】
前向きに考えていく

やなぎや いずみ
柳谷 泉 議員

地方創生

問1 国の支援事業として、地方創生移住支援事業と奨学金返還支援事業の両方を実施している市町村は1314団体あり、両方実施しないと新設された地方就職学生支援事業が受けられない。今年度から地方創生移住支援事業の取り組みを実施しているが、実施がされていない奨学金返還支援事業の創設を。

答 担当課ならびに、行政の中で前向きに考えていく。

問2 観光協会設立は、地域おこし協力隊とプロジェクトマネージャーで新たにチームを組み(有)いちごの里よしみの社長に町長がなかったことで、会社の自由度が高くなりチームと会社でプロジェクトとして、地域商社に移行させて道の駅の再開発や観光振興をしていく考えは。

答 協力隊には、お酒を作ってもらった。個人的には継続して欲しかったが、観光協会になれば継続も可能で地域商社との考え方もある。目的は町の活性化であり、調査研究していく。

問3 こども家庭庁が設立され、自治体がこどもまんなか応援サポーター宣言をしているところもある。また、この宣言はお金が必要な政策ではなく、町長の思いがあれば可能なので宣言をしたいが、宣言を。

答 良い事業なので、職員等に何が必要になるのか自分自身もさらに勉強して、宣言に向けて検討したい。宣言を通じて地域を活性化してまいりたい。

すべてのこどもや若者たちが
幸せに暮らせるように、
常にこどもや若者の今と
これからにとって
最もよいことは何かを考え、
社会全体で支えていくこと。



「こどもまんなか」とは

一 | 部 | 事 | 務

吉見分署に高規格救急車配備へ

比企広域市町村圏組合臨時会

吉田 克之 議員

日 時 令和7年5月22日(木) 午前10時から
場 所 東松山市議場
出席議員 宮崎雄一 吉田克之

付議された議案

- 議案第18号 監査委員の選任 滑川町の内田敏雄議員を選任
- 議案第19号 請負契約の締結 工事名 高坂分署庁舎新築工事(新築)
工事場所 東松山市大字西本宿地内
契約金額 3億9050万円
- 議案第20号 財産の取得 物品名 吉見分署及び小川消防署に高規格救急自動車
契約金額 6155万6000円
- 議案第21号 財産の取得 物品名 松山北分署、水槽付消防ポンプ自動車
契約金額 5490万7028円
- 議案第22号 財産の取得 物品名 東秩父消防団第1分団第二部水槽車
契約金額 2608万3090円
- 議案第23号 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定
- 議案第24号 消防特別会計補正予算(第1号) 幼年消防クラブ育成助成金の追加補正
いずれも原案のとおり同意、承認、可決されました。



導入により、助かるいのち広がる

正管理者と2市1町選出の組合議員 顔ぶれ新たに 埼玉中部環境保全組合議会定例会

» 福井 学 議員

日 時 令和7年5月27日 午前9時から
場 所 埼玉中部環境センター議場
出席議員 岩崎 勤 杉田しのぶ 大野陽康 福井 学

新たに正管理者となった神田隆町長から諸報告があり、4月25日に粗大ごみ処理施設が故障したものの、5月18日には修繕が完了し、受け入れが再開されていることなどの報告がありました。

組合議員も2年ごとの改選で新たな顔ぶれになり、岩崎勤議員は副議長に就任しました。

付議された議案

議案第7号 刑法の一部を改正する法律の施行に伴う
関係条例の整理に関する条例

議案第8号 埼玉中部環境保全組合監査委員の選任同意について

どちらも原案の通り可決、同意されました。

■令和6年4月～令和7年3月の搬入量

	組合全体	吉見町
可燃ごみ	33,485.06t (前年比159.83t増)	4,014.77t (前年比540.40t増)
粗大ごみ	1,479.82t (前年比47.19t減)	206.54t (前年比0.64t増)
合計	34,964.88t (前年比112.64t増)	4,221.31t (前年比541.04t増)

2市2町選出の組合議員 顔ぶれ新たに 北本地区衛生組合議会臨時会

» 伊藤 えりか 議員

日 時 令和7年5月28日 午後2時から
場 所 北本地区衛生組合本会議場
出席議員 福田妙子 宮尾美千代 伊藤えりか

新たに、北本市の岡村有正議員が議長に、吉見町の伊藤えりか議員が副議長に就任。また、北本市の毛呂一夫議員が議会運営委員長に、宮代町の泉伸一郎議員が副委員長に選任。

付議された議案

議案第7号 専決処分について（北本地区衛生組合議員の給与に関する条例の一部改正）原案のとおり承認。

議案第8号 監査委員の選任について（鴻巣市の中西耕二郎議員の選任同意）原案のとおり同意。

会派解散のお知らせ

「令和の会」令和7年5月12日付

議員名 小宮 榮 宮崎雄一
岩崎勤 新井寛雄

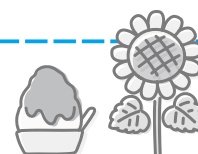
議会だより編集特別委員会

(◎ 委員長 ○ 副委員長)



伊藤えりか 宮尾美千代 福田妙子
宮崎雄一(議長) ◎福井学 ○杉田しのぶ

編 集 後 記



このたびの定例会では少子化や超高齢化、災害、社会保障、住みよいまちづくりなど、町が抱えるさまざまな課題が取り上げられました。

労働力が減少すれば必要なサービスが行きわたらず、高齢者も現役世代も子どもも困ります。

町の人で支え合わなければならないときが、必ずきます。どんな支え合いの形が良いか、ご意見を聞かせてください。

町民の方のインタビュー記事を、今後も掲載してまいります。(福井)

ひと

花づくりを通して 地域の繋がりを



代表 岡安広美さん(後右から2人目)と花仲間の皆さん



イベントで飾ったドーム菊



菊苗の植替え

おれんじれんじ(代表 岡安広美さん・花仲間10名)の活動が始まったのは20年前。町でフラワーフェスタやイルミネーションのイベントが始まったのがきっかけです。団体として花を飾りたいと思い「地域のためにできることがしたいね」と話していた友人とみんなでは花づくりを考えて、立ち上げました。会のキャッチフレーズは「花のコミュニティを通して安心安全な優しいまち」。

花づくりを通して地域の繋がりを深めるとともに、人と花の輪を広げることを目的として活動している団体です。

吉見町の花、菊も栽培して吉見町コミュニティづくり推進協議会の「花いっぱい運動」にも協力していただいています。6月に配られた菊苗はおれんじれんじの皆さんが栽培した菊です。

目標は秋までにドーム菊を綺麗に咲かせること。秋が楽しみです。

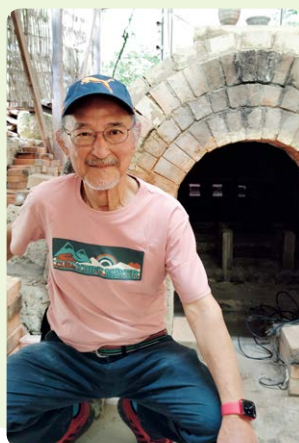
(宮尾)



インタビュー
INTERVIEW

貴重な自然環境の中で焼き続ける

西地区で少人数の陶芸教室を開く志村榮山(しむら・えいざん 75)さんに、陶芸の魅力、吉見町に窯を開いた理由を伺いました。(聞き手 伊藤)



志村榮山さん

Q 陶芸家になった経緯は。

A 高校教師をしていた時に催し物として陶芸家を学校に招く企画があり、事前学習として陶芸家の陶房に通った事が陶芸との出会いです。その時、土に触れ、ろくろを回し、自分だけの器を焼いてもらった感覚が忘れられず、休日には教室に通い、自身の窯を持つまでに。今では陶芸は生活の一部、妻も窯の窯焚きには援助に来てくれます。

Q 吉見町に窯を開いた理由は。

A 他の町や市も回りましたが、吉見町は静かで自然が豊か。薪を使うため隣家から離れる必要があります。陶芸をする環境として申し分なく、以前に町内の陶芸教室に通っていた縁もあり、西地区に窯を作ろうと決めました。

Q 今後の目標は。

A 窯では薪を使います。赤松の薪は灰が器に着くと、ガラス状でコーティングしたような状態になり、釉薬を使わなくても得も言われぬ美しさになる。陶芸は土と炎が織りなす芸術。しかし土と薪がなければできない。持続可能であるには、わたしに何ができるか考えていきたい。



赤松で焼かれた壺